



# グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	87
実施形態	オンライン
担当教員	応用化学科 吉見 靖男先生
実施期間	2021年7月24日～9月4日
実施協定校	ウィディアマンダーラカトリック大学スラバヤ（インドネシア） 国立台湾科技大学（台湾） 大阪工業大学（日本）

# 参加学生体験談（要旨）

応用化学科

3年生

私が参加したプログラムは、高校生に化学の楽しさを伝え、興味を持ってもらう為のビデオを作成するという内容でした。ビデオの内容や構成を、グループごとに海外の学生とアイデアを出し合い、話し合っていました。

週末にある参加者全員のzoomミーティングでは、チーム紹介、ビデオのテーマ、国や大学についてのプレゼンテーションを行いました。また、話し合いの為に、グループのメンバーだけでzoomのミーティングやLINEでのやりとりを沢山重ねました。

英語で考えを伝えるトレーニングになったのはもちろんのこと、英語を日常的に話している人達が使うスラングなどにも触れることが出来ました。また、対面はしていないものの、英語でのコミュニケーション能力の向上にもとても有効なプログラムだと思いました。

プレゼンテーションの準備のために、グループのメンバーと共同でスライドショーを作成することなどを通して、英語のコミュニケーションだけでなく、コロナの影響や国際化に伴う、オンラインでの活動に必要なスキルを身につける経験もできたと感じています。

応用化学科

2年生

英語での意思疎通の面で不安なところもありましたが、意外と何とかなることが多かったです。しゃべるだけでなくチャット機能などを使いコミュニケーションを行ったので、互いが考えていることは伝わりやすい環境でした。

滅多にない経験なので色々な層の人々に参加してほしいと思いました。

# 参加学生体験談（要旨）

応用化学科

2年生

Global PBLに参加して思ったことは、海外の学生とのコミュニケーションの難しさです。また、自分自身の英語の力が低いことも痛感しました。

伝えたい日本語をただ英語に直訳してもなかなか思うように伝わらないのがもどかしく、「日本語だったらこう言って通じるのに。。。と思うこともありました。

ただ、海外の学生も優しい人が多いので、多少英語が拙くてもなんとか意味を汲み取ってくれようとしてくれます。なので、Lineの通訳機能を使ったり、絵を描いて説明したりしてなんとか通じた時には、ものすごく達成感が生まれました。

僕自身このPBLに参加するのを少し迷いましたが、参加することにしました。迷うくらいならやって後悔すればいいですし、主観ですが、大学生の特権で多少の失敗は許されます。

しかし、参加するとなったら、もう逃げられません。やるしかないので必死でした。

Global PBLで得た経験が少なからず今後の糧になると信じています。

# 参加学生体験談（要旨）

応用化学科

3年生

今回のグローバルPBLに参加したのは、化学好きな人と話がしたいと思ったからです。加えて、英語でコミュニケーションを取る練習にもなれば良いなと思い参加しました。

今年の内容としては、化学の面白さを伝える動画の作成でしたが、私のチームでは、メンバー全員の合意が取れる案がなかなか出ず、つまりく事が多かったです。それでも最終的には良い動画が完成したので良かったです。

私は、動画の構想には関わりましたが、動画の作成自体にあまり関与することができませんでした。もう少し積極的に、自分にできることを探していれば良かったなと反省しています。

今回は特に自分の反省点が多いイベントになりましたが、チームのメンバーの優しさや積極性に救われました。また、自分から動かないと何もできずに終わってしまうということを学んだので、今後はこの反省を活かして積極性を身につけたいです。

応用化学科

2年生

私がこのプログラムに参加した理由は、今の時期からいろいろなプログラムに参加し、国際交流の経験を増やしたいと思ったからです。実際、本プログラムのチームメイトのインドネシア人の生徒やOITの学生と仲良くなることが出来ました。

また、チームメイトとの話し合いなどをしているうちに、自身の英語スキルがまだまだであるということや、インドネシアの生徒の動画編集スキルなどを見て、私ももっと頑張りたいというモチベーションになりました。参加を迷っている方はぜひ参加することをお勧めします。

# 参加学生体験談（要旨）

応用化学

1年生

少しでも実践的な英語を身に付けたいと思い、参加を決めました。

はじめのうちはオンライン会議で何を言っているのか理解できず、どうしたら良いのかも分からず、ずっと黙ってしていました。しかし、3、4回と会議を重ねていくうちに、相手の言っていることの全ては流石にわかりませんでした。が、「分からなかったからもう一回言って欲しい」と言ったり、意見を聞かれたら文法などはきちんとしていないけれど、とりあえずわかる単語だけで文を作って発言してみたりしました。そうすると、相手はゆっくりと言い直してくれたり、私が言った拙い英語でも理解しようとしてくれました。

伝わらないこともありました。最終的には一緒に動画を作り上げることができ、英語は正しい文法かどうかではなく、伝えたいという気持ちの方が大事で、とりあえずしゃべってみることを大切にすべきだと学びました。